

ひとわざ(一技)名: バリなし製品(精密加工品のバリ取り処理)

1. 概要(200字目安)

近年、デバイスの小型化に伴いデバイス製造に使用される治具のバリが問題となっております。図面の表記は「有害なバリ無き事」となりますが、実態は顧客により基準が異なります。

1. 加工材質を問わずに、バリ取り加工の作業を標準化いたしました。
2. バリ取り後の検査も実態顕微鏡で行い、品質保証を可能に致しました。

加工を精度よくできたとしても、バリがあれば使用できません。金型のようにコストをかけてバリ取りを行えば、治具として採用していただくことはできません。

顧客要望に沿った仕様をコストに配慮して達成すること必要になります。

写真・図(要点説明)

切削加工後の
外観



バリ取り
1段階完了



バリの取り残しがある

(事例)
φ0.05の穴あけ加工も、
バリがあれば治具とし
て使用できません。

仕上げ作業
完了



下記の事例はチタンになりますが、カーボン、マグネシウム、アルミ、樹脂等も同様の仕様で製品加工が可能になります。

2. 企業概況

会社名	株式会社 後島精工		代表者名	後島 剛			
			窓口担当	石田 公一			
事業内容	治具、工具、部品精密加工		URL	http://www.gotoseiko.jp			
主要製品	電子デバイス用トレイ キャリア/ 基盤 リードフレーム収納マガジン						
住所	〒382-0071 長野県須坂市小河原2171-5						
電話/FAX	026-245-7217 / 026-248-3836		E-mail	ishida@gotoseiko.jp			
資本金(百万円)	20	設立年月日	1972年7月	売上(百万円)	240	従業員数	14

①上記に関しては、既存技術の積み重ねによる対応になります。特別に革新的な技術の開発があるわけではありません。